

伊那市 官民共創の新しいまちづくり協議会 議事概要

会議名	第1回伊那弥生ヶ丘高校将来活用ワーキンググループ（WG）			
開催日	2024年9月30日(月)			
開催時間	開会	18:10	閉会	19:40
開催場所	伊那市役所 多目的ホール			
出席者				
協議会・WGメンバー	平賀研也氏、平賀裕子氏、山本風音氏、須永理葉氏、吉岡秀幸氏、大塚純氏			
事務局・職員	伊藤副市長 商工観光部：重盛部長、柴商工振興課長、林課長補佐 教育委員会：三澤次長、唐澤学校教育課長、伊藤課長補佐			
関係者	飯島恵子氏（上伊那地域振興局企画振興課課長補佐）			
欠席者	—			
議事	1、自己紹介 2、スケジュールについて 3、WGの進め方について 4、WGの情報共有 5、今後のスケジュール			

議事項目	概要	次のステップ
1、自己紹介		
2、スケジュールについて		
タイムラインについて	○市から説明 ・R10年4月に新校開校（年次統合） ・R11年度まで弥生ヶ丘高校校舎は使用 ・県は開校のR10までに活用案を決定する。 ○WGメンバー ・前とスケジュールが変わってきているので、最新のスケジュールを確認したい。 ○市から説明 ・市の活用案は、R10を待たずに都度、県と協議しながら進めていくことだと思う。 ○WGメンバー ・WGでは、R7年度中に活用案を策定したい。	・最新のスケジュールを県に確認する。
3、WGの進め方について		
会の進め方について プレゼン資料について	○WGメンバー ・残り1年半で、最終のアウトプットとして、プレゼン資料を作っていく。作成に必要なプロセスは何か。	・プレゼン資料を作成するためのプロセスを決めていく。

	○WG メンバー ・市民の声を拾うという作業 ○WG メンバー ・可能性のある企業、大学、ホテルに営業活動を行う。お金を出してくれる相手を探す。 ○WG メンバー ・何が課題としてあるか把握する必要がある。 ・学びが前提であるので教育の課題とか。 ○WG メンバー ・学びの再定義のために、専門家を呼ぶか、リサーチするか。 ○WG メンバー ・まちとの繋がりをイメージできる絵を見せたい。 ○WG メンバー ・まずビジョンを作る必要がある。ビジョンができたら営業をする。	
この会のゴールについて	○WG メンバー ・この会のゴールは持っておかないと。そのゴールは何ですか。私は人が増えてほしい。 ○WG メンバー ・若い人、稼ぐ人が増えていく。 ○WG メンバー ・学びが再定義されて、形として表れて、外の人たちでも、こういうものを作ろうぜってなること。学びのモデルとなること。 ○WG メンバー ・産業などお金を産みだすものに入ってほしい。雇用を生む施設。市を発展させる施設。 ○WG メンバー ・新しい生きていく価値、自分の価値を見出せるような学び、そういう場になればいい。 ○WG メンバー ・子どもだけでなく大人も学ぶ。自分の学びを選ぶ。 ・市内外の人の交流の場になればいい。	
WG のコンセプトについて	○WG メンバー ・「施設を作った結果、市民がどうなりました。」があるとやってよかったとなる。総合的なコンセプトとして「○○○な伊那市」の○に入るのは何が考えられるか。 ○WG メンバー ・森と学びで持続可能な伊那市 →市の強みを生かしている。	

	○WG メンバー ・アントレプレナーシップのある伊那市 ○WG メンバー ・自由に生きている伊那市、ポートランド ○WG メンバー ・今日は出なくても、日々考えるきっかけにしてい だきたい。	・WG のビジョンを考えてい く。
4、WG の情報共有		
	○WG メンバー ・まず初めに協議会として、「何を実現させたいの か。」を決めておく必要がある。 ・やれることが多すぎるし、要件が多すぎるので、ど ういう判断をしてよいかわからない状況になってい る。 ・協議会として共通の「○○○な伊那市」みたいなビ ジョンがないと難しい感じがする。 ・タイムラインを共有化したい。何をいつまでに決め るというプロセスを共有化することで見えてくる。 ・市としてやることは何ですかということ。行政がす べてやる必要はない。市民に何を提供したいのか。 そのために行政は何をするのかというところを、最 初にすり合わせたい。みんなで共通のイメージを持 ちたい。	・全体会への要望
5、今後のスケジュール		
次回開催予定	10月3日(木)16:30-18:30	